

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭61-205564

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)9月11日

B 62 D 49/00  
A 01 F 7/002123-3D  
6643-2B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全1頁)

⑮ 発明の名称 ハーベスタ等の走行機体

⑯ 特 願 昭60-46872

⑰ 出 願 昭60(1985)3月8日

⑱ 発 明 者 長 谷 川 貞 治 愛媛県伊予郡砥部町八倉1番地 井関農機株式会社技術部  
内

⑲ 出 願 人 井関農機株式会社 松山市馬木町700番地

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

ハーベスタ等の走行機体

## 2. 特許請求の範囲

車台(1)下方の左右走行装置(2)(2)の間に、これら走行装置(2)(2)を駆動する運動ケース(3)を設けると共に、該運動ケース(3)の側方で、かつ左右走行装置(2)(2)の間に原動機(4)を並設すべく構成してなるハーベスタ等の走行機体。

## 3. 発明の詳細な説明

## 産業上の利用分野

この発明は、ハーベスタ等の走行機体に関するもので、ハーベスタや運搬車などに利用できる。

## 従来の技術

従来、ハーベスタ等の走行機体は、車台の上部に原動機を搭載する構成であった。

## 発明が解決しようとする問題点

ハーベスタ等の走行機体において車台の上部に原動機を搭載した形態では、この車台上に脱役装

置を搭載すると、機体全長が長くなり、圃場における旋回時に小回りが出来難いため旋回性能の低下を来す。又、脱役装置を降して運搬車として使用するときには、積荷する平面部が十分にとれない。

そこでこの発明は、機体下部の左右走行装置の間に、原動機を配設して、機体をコンパクトに構成するとともに、運搬車として利用する際に積荷平面部を広くしようとするものである。

## 問題を解決するための手段

この発明は、車台(1)下方の左右走行装置(2)(2)の間に、これら走行装置(2)(2)を駆動する運動ケース(3)を設けると共に、該運動ケース(3)の側方で、かつ左右走行装置(2)(2)の間に原動機(4)を並設すべく構成してなるハーベスタ等の走行機体の構成とする。

## 発明の作用、および効果

走行機体は、原動機(4)によって運動ケース(3)を介して左右走行装置(2)(2)が運動されて走行するが、この原動機(4)と運動ケー

ス(3)とは、車台(1)の下方に位置していると共に、左右走行装置(2)(2)の間に並設しているため、車台(1)の上部が広くとれ、脱穀装置を搭載しても機体全長が長くならず小型化できる。

又、走行機体を運搬車として使用する場合には、車台(1)の上面を積荷用として広く使用できる。

#### 実施例

なお、図例において、走行機体(5)は、車台(1)の後部に後方斜め上方へ送設する操作フレーム(6)を設けて、この操作フレーム(6)には操縦ハンドル(7)を設け、下部には左右走行装置(2)(2)を装着した構成として、該走行機体(5)の車台(1)上部には、脱穀装置(8)を着脱可能に搭載している。なお、左右走行装置(2)(2)にかえて、左右に車輪を配設してもよい。

該車台(1)の下方には、枠組構成するフレーム(9)を設け、該フレーム(9)の後部には、

は支持杆(17)とを設け、該車台(1)上には前後方向へスライド可能なキャリア台(18)を設けている。

前記脱穀装置(8)は、上部に扱胴(19)を内装する脱穀室を設け、この脱穀室の一端には穀粒を挾持して搬送するフィードチェン(20)および挾鉗杆(21)を設けている。

該脱穀室の下方には、扱胴(19)で脱穀され該脱穀室から漏下された脱穀物を受けて穀粒と藁屑などと共に選別する選別室を、この選別室の下方には一番口および二番口などを設けて、この一番口には穀粒を機外へ取り出す揚穀筒(22)を設けている。

該脱穀室の後方には、選別室で選別された藁屑などを吸引ファンで機外へ排出する排塵室を設けている。又、脱穀装置(8)の上部には、原動機(4)からの伝動を入り切りする脱穀クラッチレバー(23)を設けている。(24)は前記脱穀室の入口部に設ける播置台である。

原動機(4)により各部を動力伝動し、走行ク

進動ケース(3)の下端より左右へ送設する車輪を内装するボス部(10)を取着して、該車輪の先端には駆動スプロケット(11)を各々設けている。該フレーム(9)の前部左右に進動ローラ(12)(12)を各々設け、該進動ローラ(12)(12)と左右の駆動スプロケット(11)との間には走行装置(2)(2)を各々装着している。

該フレーム(9)上には、進動ケース(3)の前側に原動機(4)を搭載し、この原動機(4)より進動ケース(3)を介して左右走行装置(2)(2)を駆動する構成としている。

前記操作フレーム(6)内には燃料タンク(13)を内装し、又、該操作フレーム(6)の上面には、原動機(4)より左右走行装置(2)(2)への伝動を入り切りする走行クラッチレバー(14)および進動ケース(3)内の左右走向クラッチを入り切りするサイドクラッチレバー(15)を設けている。

該車台(1)の前部には、上下回動可能なキャリアアーム(18)とこのキャリアアーム(18)に

ラッチレバー(14)を入り操作すると、左右走行装置(2)(2)へ伝動されて走行機体(5)が前進する。左右のサイドクラッチレバー(15)を入り切りすると、走行機体(5)の進行方向を左右方向へ変更することができる。

脱穀クラッチレバー(23)を入りとすると、脱穀装置(8)へ伝動され、播置台(24)の刈取穀粒をフィードチェン(20)へ供給すると、挾鉗杆(21)とフィードチェン(20)とによって搬送されながら、扱胴(19)により脱穀される。この脱穀物は、脱穀室より漏下されて選別室で穀粒と藁屑などと共に選別され、穀粒は一番口へ落下して揚穀筒(22)を経て機外へ取出される。藁屑は排塵室を経て吸引ファンにより機外へ排出される。

脱穀装置(8)を走行機体(5)から降して運搬車として使用するときは、キャリアアーム(18)を第2図の仮想線で示すように上方へ回動させて支持杆(17)により係止させ、車台(1)上のキャリア台(18)を前方へ引出して、キャリアアーム(18)上へ固定させる。すると、走行機体(

5)の上面は平面状となり、積荷場所を広くとることができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

図は、この発明の一実施例を示すもので、第1図は平面図、第2図は斜視図、第3図は側面図である。

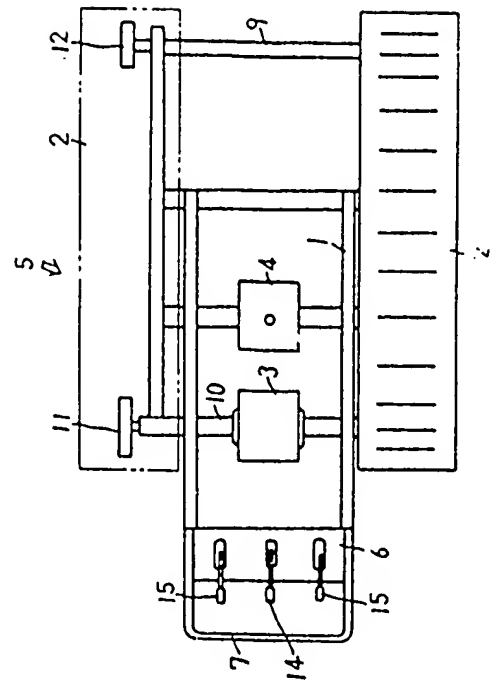
図中、符号(1)は車台、(2)は左右走行装置、(3)は運動ケース、(4)は原動機を示す。

特許出願人の名称

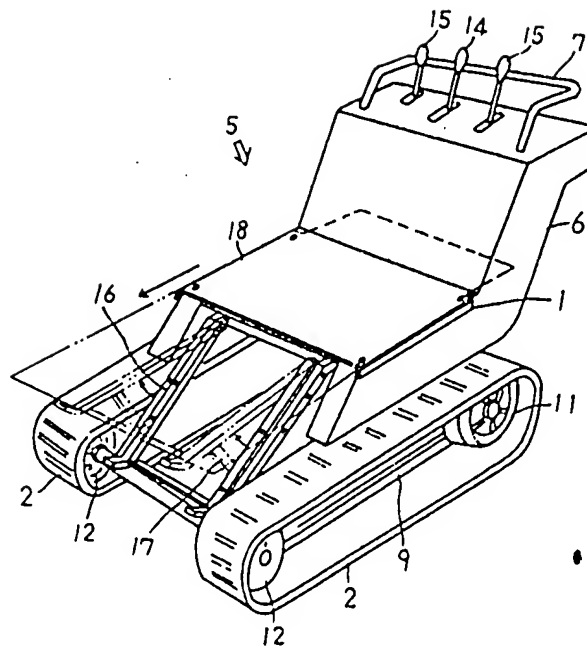
井関農機株式会社

代表者 井関 昌 孝

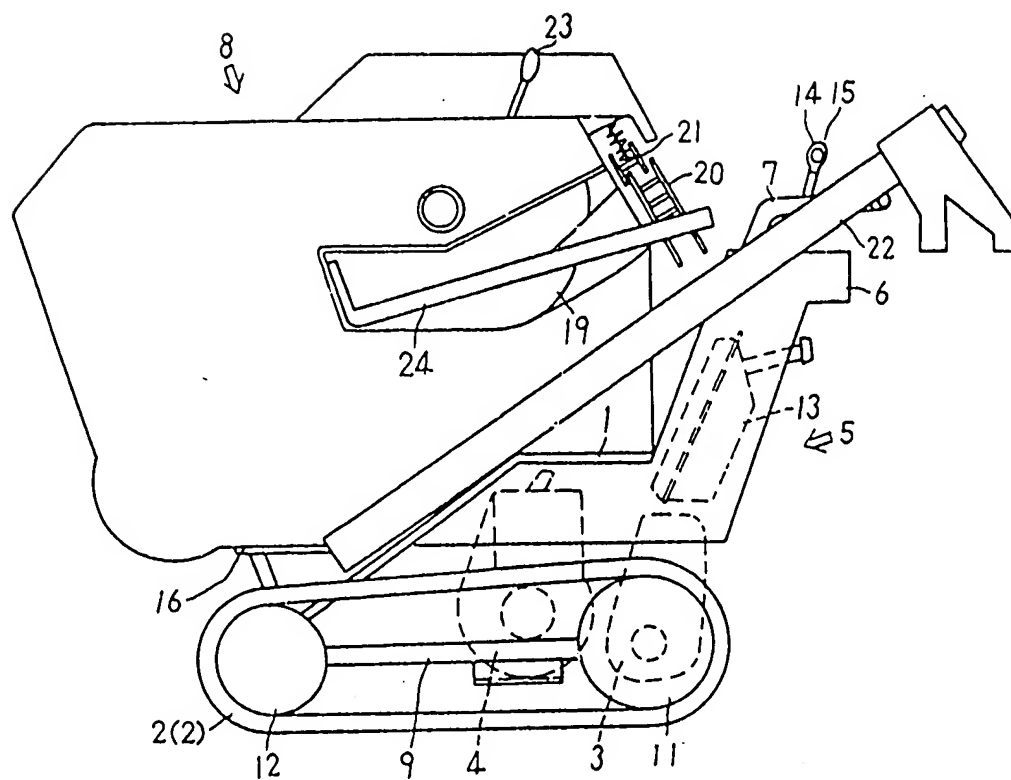
第1図



第2図



第3図



1/5/1

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) JPO & JAPIO. All rts. reserv.

01991464

TRAVEL MACHINE SUCH AS HARVESTER

PUB. NO.: 61-205564 [JP 61205564 A]  
PUBLISHED: September 11, 1986 (19860911)  
INVENTOR(s): HASEGAWA SADAJI  
APPLICANT(s): ISEKI & CO LTD [000012] (A Japanese Company or Corporation),  
JP (Japan)  
APPL. NO.: 60-046872 [JP 8546872]  
FILED: March 08, 1985 (19850308)  
INTL CLASS: [4] B62D-049/00; A01F-007/00  
JAPIO CLASS: 26.2 (TRANSPORTATION -- Motor Vehicles); 11.1 (AGRICULTURE --  
Agriculture & Forestry)  
JOURNAL: Section: M, Section No. 559, Vol. 11, No. 39, Pg. 65,  
February 05, 1987 (19870205)

#### ABSTRACT

PURPOSE: To make the machine body compact by juxtaposing an engine and an interlock case for driving the right/left travel units between the travel units at the right and left below the base.

CONSTITUTION: A frame 9 is provided below the base 1 while the boss section 10 containing an axle extending to the right and left from the lower end of interlock case 3 is fixed to the rear section of said frame 9. A drive sprocket 11 is arranged at the tip of said axle. While idle rollers 12 are arranged respectively to the right and left at the front section of the frame 9, and a travel unit 2 is mounted between the drive sprocket 11 and the idle roller 12. Furthermore, an engine 4 is mounted at the front side of the interlock case 3 on the frame 9 to drive the right and left travel units 2 by means of the engine 4 through the interlock case 3.

?